

知事メッセージ

～将来の世代が安心して暮らせる地球のために～



2008年の世界同時不況に端を発し、わが国でも厳しい雇用、経済情勢が続く中、私たちはこれまでの経済のあり方を見つめ直し、環境と経済の両立を目指した一歩を踏み出すことが必要です。

諸外国がグリーン・ニューディール型政策を展開し、米国が地球温暖化問題に新たな展開を見せはじめると、世界においても環境政策の重要性が増しています。

わが国でも経済対策としてエコポイント制度やエコカー減税が実施されるなど、身近なところで環境政策を実感する状況となる中、政府は2020年までに1990年比25%削減という挑戦的な温室効果ガス削減目標を打ち出し、各国との協調による目標達成を目指す姿勢を示したところです。

わたしたちは、子や孫、さらにその先の世代が安心して暮らせる地球のために、持続可能な社会の形成を目指して歩調をあわせていかなければなりません。

三重県では平成11年度に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し10年目を迎えました。行政機関であると同時に地域有数の大規模事業者として率先して環境活動に取り組む中で、職員の意識も少しずつ変わってきています。

昨年策定した新しい環境方針では「グローバルな視点で考えローカルに実践するという観点に立ち、環境保全と経済成長が両立する持続可能な地域社会への転換を目指した戦略的な取組を進めていく」ことを基本理念に掲げました。

この理念を踏まえ、県の総合計画「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」で重点的な取組として位置づけている「地球温暖化の防止」や「ごみゼロ社会の実現」などの環境を取り巻くあらゆる課題に率先して取り組んでいくこととしています。

本報告書は、県庁自らが率先して環境負荷低減に取り組んでいる状況を、県民や事業者の皆様方にお知らせすることを目的として取りまとめたものです。

皆さまからの率直なご意見やご感想を心よりお待ちしております。

平成21年9月 三重県知事 豊田昭彦